

## 令和6年度 管理運営評価シート

施設名	ひょうご環境体験館	現指定管理期間	令和3年度～7年度(5年間)
指定管理者	(公財)ひょうご環境創造協会	選定方法	公募

## 1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃 日常点検の実施 外部委託(清掃(週5回)、塵芥処理(週1回)) エコハウスサポーターと職員による環境整備(年2回)	日常点検及び外部委託による清掃等を計画どおり実施した。 来館者アンケートの施設全体の満足度の項目で、回答者の98.8%から不満はないと評価されており、良好な館内外の環境を維持できた。	◎	◎
	設備保守管理 日常点検及び定期点検の実施 外部委託(電気工作物保守点検(毎月1回)、空調設備点検(年2回)、排水再利用設備保守点検(毎月2回)、給水設備保守点検(年1回)、消防設備点検(年2回))	職員による日常点検、委託業者による定期点検を実施 設備の老朽化はあるものの、点検により外部階段の修繕や散策路にガードポールを設置するなど概ね良好な設備の維持管理ができた。	◎	◎
	植栽管理 エコハウスサポーターによるエコの森の整備(年5回) 花壇・七草園の整備(年4回)、周辺清掃(年2回)実施	計画どおり実施した。 ネイチャーゲームや自然観察のプログラムが円滑に実施できており、良好な環境が維持の維持ができています。	◎	◎
	警備 外部委託業者による機械警備の実施(毎日)退庁時の施錠確認や不審者対応により事故・盗難の発生の未然防止の取組	年間を通して、事故・盗難等の発生を防止できた。	◎	◎
	小規模修繕 事務用記憶装置の交換・排水再利用設備のポンプ等の修理・正面玄関ドア修理・水道管凍結防止工事・外部防水工事・外部階段修繕工事・散策路ガードポール設置・展示室空調設備修繕等を実施	建物や周辺設備、備品等について早期の異常発見や、危険箇所の把握に努め、異常に対して迅速な対応を行った結果、安全に業務が実施できた。	○	○
	法定点検の実施 外部委託(電気工作物保守点検(年6回)、排水再利用設備保守点検(毎月2回)、給水設備保守点検(年1回)、消防設備保守点検(年2回))、建物定期点検	計画どおり実施した。 法律に定められた点検については、有資格者である専門業者に委託することにより、適正な点検を実施できた。	◎	◎

運営業務	開館日・開館時間等	【開館日・開館時間】 休日：月曜日（祝日なら翌日）、12/31、1/1 開館時間：午前 10 時～午後 5 時	大雨警報等による臨時休館を除き、計画どおりに開館し、県民ニーズに沿った各種体験事業を実施できた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	県下幼保・小・中・高校・公民館・教育委員会・近隣施設等へチラシを配布 新聞・地域広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページ、メールマガジン、フェイスブック等で施設案内や資料案内を公表	県下への広域的なチラシ配布や新聞等のマスメディアや地元のメディア、ホームページの活用、地域の関係機関との連携等、積極的な広報活動を行い、利用者増を図ることができた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	[前年度] 環境学習事業（基本プログラム：92 団体、3,531 人/特別プログラム：109 回、2,338 人） 情報発信事業（HP アクセス件数：310,910 件）	環境学習事業（基本プログラム：79 団体、2,951 人/特別プログラム：115 回、2,448 人） 情報発信事業（HP アクセス件数：313,638 件） 新規プログラムの開発にも積極的に取り組み、事業計画に即した環境学習プログラムを実施できた。	◎	◎
	利用者満足度調査結果（アンケート調査）	調査実施回数：随時 実施時期：随時 実施方法：アンケート用紙	調査結果の概要： アンケートにおいて、「満足」と回答した人の割合 ・環境プログラム 97.0% （全回答 668 名中「大変満足」「やや満足」が 648 名） ・施設全体 88.2% （全回答 566 名中「大変満足」「やや満足」が 499 名） 調査の集計結果：別添のとおり 施設全体についても、また実施した環境学習プログラムについても、利用者からは高い評価を得ており、優れた内容のプログラムが提供でき、環境学習の効果を上げることができた。	◎	◎
利用状況	利用者数	[前年度] 来館者数：6,904 人 [前年度] 利用者数：14,950 人	来館者数：6,238 人 利用者数：30,335 人 5月中途より新型コロナウイルス感染症が法律上5類移行となり、利用者は回復傾向にある。	○	○

	施設稼働率	【前年度稼働率】 99.4% (実働日数 310 日/稼働予定日数 312 日)	【R5 年度稼働率】 99.4% (実働日数:311 日/稼働予定日数 313 日) 大雨警戒情報が発表されたことにより臨時休館 6月2日 台風7号による大雨等警報発令による臨時休館 8月15日	○	◎
収支状況	収支計画と実績	【当初収支予算案】 収入の部:指定管理料	収入の部:指定管理料 36,758,000 円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	職員、エコハウスサポーターによる草刈、階段・側溝の整備等の実施 デマンドの徹底した管理による電気基本料の抑制	計画どおり実施した。 職員やサポーターによる自主的な館内外の環境整備への努力により、修繕その他の経費削減ができた。 電気基本料について、増加することはなかった。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	高齢者や足の不自由な方からの送迎要望 (駐車場、体験館)等、利用者へ臨機応変に迅速かつ適切に対応	職員対応への苦情はなく、要望にも迅速に対応した。 来館者アンケートでもほぼ100%が不満はないと回答している。	◎	◎
	危機管理体制の確保	マニュアル及び緊急連絡表の見直し 施設賠償保険等への加入 防災避難訓練、救急対応訓練の実施	緊急時に迅速かつ適切に対応できるようにマニュアル等の確認を行い、職員及びサポーターに対する防災教育及び訓練を実施した。	◎	◎
	県・関係機関との連携	利用者数等、利用状況の月例報告を実施 イベント関連の実施に際しての連携を密に行った	緊密に連絡調整を図り、情報等の共有を図ることができた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	該当なし	該当なし		

## 2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

来館者アンケートにおいて、566 名のうち 98.8%の利用者が施設全体について不満はない(「大変満足」347+「やや満足」152+「普通」60=559 名)と回答していることから、適切な管理、運営ができたと考える。

また、当館において実施した環境プログラムやエコイベントのほか、外部イベントへの参加、常設の展示機器を使ったわかりやすい解説などを通じ、魅力的で特色のある独自の環境教育を行っている。

今後も外部有識者による運営委員会の意見等を反映させ、効率的で魅力的な運営に努めるとともに、積極的な広報活動も展開していく。

## 令和5年度 総合評価シート

評価者: 環境部環境政策課

施設名	ひょうご環境体験館	現指定管理期間	令和3年度～7年度(5年間)
指定管理者	(公財)ひょうご環境創造協会	選定方法	公募

## 1 指定管理者の業務実績に関する評価

魅力的なイベント等の企画の立案や拡充など、利用者増加に向けての工夫がされている。また、外部有識者による運営委員会の意見等を反映し、効率的な運営に努めている。

## 2 業務改善に向けた分析・指導内容

## &lt;維持管理業務&gt;

- エコハウスサポーター(ボランティアスタッフ)の協力を得て施設周辺の環境美化を図るなど、経費を削減するとともに、適切な管理ができていることは評価できる。
- 設備の老朽化はあるものの、点検により外部階段の修繕や散策路にガードポールを設置するなど良好な維持管理に努めている。

## &lt;運營業務&gt;

- 屋外での自然観察や、館内でのリサイクル工作など、環境学習プログラムの充実に努めたことは評価できる。さらに、環境学習プログラム内容について個人参加者(97.0%)、団体利用者(100.0%)から「満足」との回答を得られており、高く評価できる。
- 個々の項目(展示見学コースの内容、職員・スタッフの応対等)について、概ね高い満足度を得ていることに加え、施設全体についても98.8%の利用者から不満はないとの回答を得ている。
- プログラムの予約方法が電話のみであり、今後、他の予約方法について検討する必要がある。

## &lt;利用状況&gt;

- 利用者は30,335人と目標(32,000人)をやや下回ったが、新型コロナ前の水準に回復した。(R4: 14,950人)。

## &lt;総合評価&gt;

- すべての項目において、高い評価を得ている。

## 3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A	S	—	—

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である